

次号予告

グラフ＝骨X線像の基礎知識 (4)	東医歯大病院	大田 仁史
特集＝臨床教育		
日本における臨床教育	府中リハ学院	ビアール, 他
臨床実習に関する一考察	清瀬リハ学院	富岡 詔子
講座		
骨X線像の基礎知識 (4)	東医歯大病院	大田 仁史
先行・失認シリーズ	東大病院	上田 敏
研究と報告		
Hip Action Brace	大手前整肢学園	山本 和儀
脳性まひ児の食事訓練における経験	足立学園	宮本 雅子
プラクティカル・メモ		
マットの使い方	伊藤病院	門田 司郎
便器の紹介	東大病院	駒沢 治男
症例の検討と反省		
疼痛が動機づけを困難にした一症例	東女医大病院	山崎 勉
海外だより		
Home health care agencies について	伊藤病院	奈良 勲
施設紹介		
国立補装具研究所	国立補装具研究所	飯田卯之吉
資料		
今日におけるOTの実態	東大病院	鎌倉 矩子
今日の精神科作業療法		
日下部病院視察	元松沢病院長	江副 勉
PT・OT 学会から		
OT 評価について	都心障センター	寺山久美子
OT 教育を考える	東大病院	鎌倉 矩子
グロッサリー		
理学療法一般用語 (1)	鹿教湯温泉研究所	平方 義信
文献抄録		
'Demonstration of the traditional approach in the treatment of a patient with Parkinsonism'	九州労災病院	中山 彰一
'The use of operent conditioning with physically disabled child'	足立学園	宮本 雅子
リハビリテーション英語講座	伊藤病院	荻島 秀男

編集後記

本号の発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。この号が1971年の最終号ですが、今年はPT・OT界においても「特例」問題をはじめとして様々なことがありました。とともに今後の協会・学会の運営の方向などにおいてもまたひとつの転機となったことでしょう。今こそひとりひとりのPT・OTが自ら考え、ともに行動するべき時機に到達したとも思われます。

また私ども編集部にとっても、臨時特集号「脳卒中のリハビリテーション」の発行など大きく1歩前進した年であったと思います。しかし、何分にもはじめての企画であり、十分に読者の皆様のご要望におこたえできなかった点もございました。

よう。それにも増して皆さまから激励やご批判をいただきましたことは編集を担当するものとして何よりも嬉しいことでございました。

来年からはもっともっと勉強いたしましてPT・OT領域に必須の雑誌となるよう努力いたしたいと思ひます。

どうぞ皆さま、そのためにぜひご意見やご投稿を以前にも増してお寄せくださいますようお願い申し上げます。さらに皆さまの身の回りにある問題や皆さまの工夫などもどしどしご投稿下さい。それではどうぞよいお年をお迎えくださいますよう。

(M)

編集委員

砂原 茂一	国立療養所東京病院長
上田 敏	東大病院リハビリ部
高橋 勇	整肢療養園医務部長
松村 秩	
福屋 靖子	
野本 卓	日本理学療法士協会
鈴木 明子	
寺山 久美子	
横田 和子	日本作業療法士協会

編集顧問

相沢 豊三
秋元 波留夫
天児 民和
飯野 三郎
大島 良雄
勝木 司馬之助
河邨 文一郎
小池 文英
児玉 俊夫
杉山 尚
椿 忠雄
津山 直一
水野 祥太郎

編集同人

浅野 達雄
井上 正吾
遠藤 文雄
大塚 欣壮
荻島 秀男
小野 啓郎
中村 裕
浜島 良知
原 武郎
細川 忠義
宮地 昭郎
和才 嘉昭
米倉 豊子

(担当 内田・岩元・三輪)